

平成30年度  
大学院医工農学総合教育部  
博士課程学生募集要項

ヒューマンヘルスケア学専攻

出願方法がWeb出願に変更になります

学力検査日：平成29年10月17日(火)

出願登録期間：平成29年9月25日(月)～平成29年9月29日(金)

※この期間内に、Web出願登録、検定料納入及び出願書類の郵送【必着】のすべてを完了している必要があります。

Web出願サイト：<https://syutugan.yamanashi.ac.jp>



UNIVERSITY  
OF  
YAMANASHI

山梨大学

(<http://www.yamanashi.ac.jp>)

# 《アドミッション・ポリシー》

## ◇大学院医工農学総合教育部博士課程の理念・目標とアドミッション・ポリシー

### [理念・目的]

現代社会が直面する課題の解決に応用でき、また、これら応用研究の基礎となる学術研究を、国際的視野を持って創造的に推進する優れた研究者並びに高度で専門的な知識と能力を有する職業人を養成する教育・研究を行います。

### [教育目標]

研究者もしくは高度な専門技術者として自立して研究活動を行うに必要な深い学識と高度な研究能力並びに高い倫理観を備えた優れた研究者もしくは高度な専門技術者の育成を目指しています。

### [アドミッション・ポリシー]

基礎的な研究及び独創的な研究を推進し、現在及び未来世代に貢献することに意欲を持った人を求めます。

#### ヒューマンヘルスケア学専攻

看護・保健・福祉に関し、柔軟な思考で創造的な研究に取り組みたい人を求めます。

# 目 次

## 募 集 要 項

1	募集人員	1
2	出願資格	1
3	出願手続等	1
4	選抜方法	3
5	合格者の発表	3
6	入学手続	3
7	授業料	4
8	その他の経費	4
9	その他	4

## 入 学 案 内

1	目的	5
2	専攻の内容	5
3	構成	5
4	授業科目及び担当教員	5
5	学 位	5
6	履修及び研究方法	5
7	大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例	6
8	入学料及び授業料の免除制度、入学料徴収猶予制度	6
9	長期履修学生制度	6
10	奨学金制度	6
11	学生教育研究災害傷害保険	6

〔添付書類様式〕

研究業績調書  
研究計画書  
受験承諾書

# 募 集 要 項

1 募集人員 4人(社会人特別選抜を含む。)

## 2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する方

- (1) 修士の学位又は学校教育法第104条第1項に規定する専門職大学院の課程を修了した方に授与される文部科学大臣の定める学位(以下「専門職学位」という。)を有する方、又は平成30年3月までに修士の学位又は専門職学位を取得する見込みの方
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された方、又は平成30年3月までに修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与される見込みの方
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された方、又は平成30年3月までに修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与される見込みの方
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された方、又は平成30年3月までに修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与される見込みの方
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法(昭和51年法律第72号)第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学(以下「国際連合大学」という。)の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された方、又は平成30年3月までに修士の学位に相当する学位を授与される見込みの方
- (6) 外国の学校、上記の(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する方と同等以上の学力があると認められた方
- (7) 文部科学大臣の指定した方(平成元年文部省告示第118号)
- (8) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する方と同等以上の学力があると認めた方で、入学の時点で24歳に達している方

(注)① 上記の(7)又は(8)により入学を志願しようとする方については、事前に出願資格の審査を行いますので、出願資格審査の書類を9月4日(月)(必着)までに入試課宛に提出してください。出願資格審査提出書類は、<http://www.yamanashi.ac.jp/admission/45> あるいは山梨大学 HP >入試情報>大学院入試>募集要項・選抜方法からダウンロードし、使用してください。審査の結果は、9月21日(木)に本人宛に通知します。

② 社会人特別選抜に出願できる方は、上記の出願資格のいずれかに該当する方で、看護師・保健師・助産師のいずれかの資格を有し、3年以上の看護関連業務の実務経験を有する方とします。

## 3 出願手続等

### 【事前準備】

インターネットに接続されたパソコン等(スマートフォン・タブレット端末を含む)、出願書類を印刷するためのプリンター、利用者登録時に必要となるメールアドレス・顔写真の画像ファイル、出願書類の郵送に必要な角型2号封筒(24cm×33.2cm)・362円分の切手を準備してください。

募集要項は、Web出願サイト内でも確認できます。

### (1) 出願方法

以下の①から③までのすべてを順番に行ってください。

①Web出願サイトから出願情報を登録

↓

②入学検定料の納入

↓

③出願書類の印刷・作成・郵送【必着】

### (2) 出願期間

平成29年9月25日(月)～9月29日(金)【必着】

※出願期間内に上記(1)の①、②及び③のすべてを完了している必要があります。いずれか1つでも受付期間中に完了していない場合は、出願を受理することはできませんのでご注意ください。

(3) Web 出願サイト

<https://syutugan.yamanashi.ac.jp>

Web 出願サイトへは、上記URLからアクセスできます。

画面の案内にしたがって、志願者の個人情報及び出願情報等を登録してください。

(4) 検定料の納入

**入学検定料 30,000 円**

- ・ 検定料支払画面にて決済方法を選択し、支払手続を行ってください。
- ・ 一度納入した入学検定料は、理由のいかんにかかわらず返還しません。
- ・ 全ての支払方法に対して、別途手数料が必要になります。

利用できる支払い方法は以下の通りです。

①「クレジットカード」

クレジットカードの名義は、志願者本人である必要があります。

②「コンビニエンスストア」

支払可能なコンビニエンスストアは、Web 出願サイトで確認してください。

③「金融機関ATM(ペイジー)」

Pay-easy マークのついているATMで支払うことが可能です。

④「ネットバンキング」

事前に金融機関での口座開設が必要です。

**【入学検定料の免除について】**

山梨大学では、東日本大震災及び熊本地震により被災した山梨大学入学志願者の平成 30 年度選抜試験入学検定料の免除措置を行います。

免除を希望する方は、Web 出願サイトで出願情報の入力を完了する前に入試課へお問い合わせください。本学から E メールにより、入学検定料免除コードを送信しますので、コードを入力後、出願登録を完了してください。

免除申請書類等の詳細につきましては、山梨大学ホームページ([http://www.yamanashi.ac.jp/examination\\_list](http://www.yamanashi.ac.jp/examination_list))で確認してください。

(5) 出願書類等

入学志願者は、次に掲げる書類等を一括して受付期間内に提出してください。

出願書類には、各自が準備する書類と、Web 出願サイトから印刷して提出するものがあります。

一度受理した出願書類は、いかなる理由があっても返還しません

No.	書類等	一般選抜	社会人特別選抜	摘要
1	封筒貼付票	○	○	出願書類印刷ページから印刷し、各自で用意した角型 2 号封筒 (24cm×33.2cm) に貼り付けてください。
2	成績証明書	○	○	・ 出願資格(1)により出願する方は、学部及び大学院修士課程又は博士前期課程の成績証明書を提出してください。 ・ 出願資格の(2)～(8)により出願する方は、学部等の成績証明書を提出してください。
3	修士課程修了(見込)証明書	○	○	出願資格の(2)～(8)により出願する方は、学部等の卒業証明書を提出してください。
4	履歴書	○	○	出願書類印刷ページから印刷した「履歴書」を提出してください。
5	切手	○	○	出願書類印刷ページから印刷した「郵便切手貼付用紙」に、362 円分の切手を貼り付けてください。
6	修士の学位論文 又は研究業績著書等	○	○	修士の学位を有する方は、学位論文の写しを提出してください。 上記以外の方は、本要項添付の様式により、研究業績調査及びその内容を証明する書類を提出してください。
7	研究計画書		○	本要項添付の様式を印刷して使用してください。
8	免許証の写		○	看護師、保健師および助産師の免許証の写し。 (A4 サイズに縮小してください。)
9	在職期間証明書		○	3 年以上の看護関連業務の実務経験について、勤務先が証明したもの(様式は任意)を提出してください。

10	受験承諾書	○	○	在職のまま在学しようとする方は、出願に際して本要項添付の様式により、勤務先が承諾する受験承諾書を提出してください。
11	その他	○	○	・日本国籍を有しない方は、市区町村長の交付する「住民票」を提出してください。 ・改姓により各証明書等の氏名が異なっている場合は、戸籍抄本を提出してください。

(6) 出願書類等の提出方法

各自で用意した市販の角型 2 号封筒 (24cm×33.2cm) を使用し、「封筒貼付票」を貼り付けて、必ず郵便局から書留速達郵便にて送付してください。

持参の場合は、出願期間中の 9 時から 16 時 30 分の間に本学入試課窓口において受け付けます。

※ 郵便事情を考慮し、必ず受付期間内に本学へ到着するようにしてください。

※ 出願書類印刷ページから、「提出書類チェックリスト」を印刷し、書類がすべてそろっているかを確認してから提出してください。

(7) 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談

病気・負傷や障害等で受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、事前にご相談ください。

(8) 出願書類等の提出先及び出願全般に関する照会先

〒400-8510 甲府市武田 4 丁目 4-37 山梨大学教学支援部入試課  
電話 055-220-8046

(9) Web 出願に関する照会先

山梨大学教学支援部入試課 電話 055-220-8055

【出願上の留意事項】

- ① 出願書類に不備がある場合は、受理しないことがあるので十分注意してください。
- ② 出願書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- ③ 受理した出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- ④ Web 出願登録完了後は、いかなる理由があっても、出願内容の変更は認めません。

## 4 選抜方法

入学者の選抜にあたっては、学力検査、口述試験、出身大学大学院等の成績証明書の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

(1) 学力検査等

日時		試験科目	一般選抜	社会人特別選抜
平成 29 年 10 月 17 日 (火)	9:00~10:00	英語	○	○
	10:15~	口述試験	○	○
	13:00~14:00	小論文	○	

- (備考)
- 1 英語には、辞書(電子辞書類は除く)の持ち込みを許可します。辞書の種類は問いません。
  - 2 ルーペの持ち込みは禁止します。
  - 3 口述試験は志望する教育・研究領域について行います。
  - 4 英語試験に遅刻した場合は、試験開始後 30 分以内に限り、受験を認めます。  
ただし、試験終了時間は変更しません。

(2) 試験場所

山梨大学医学部キャンパス看護学科教育研究棟(別図参照)

(試験開始 10 分前までに入室してください。)

## 5 合格者の発表

合格者の発表は、平成 29 年 11 月 17 日（金）午前 10 時に医学部キャンパス看護学科教育研究棟玄関前に掲示するとともに、合格者には合格通知書を郵送します。

なお、合格者の受験番号をホームページ(<http://www.yamanashi.ac.jp>)にも掲載しますが、最終的な確認は合格通知書で行ってください。（電話等による可否の問い合わせには応じかねます。）

## 6 入学手続

(1) 入学手続の期日は、平成 30 年 1 月 17 日（水）～1 月 19 日（金）です。

(2) 納入金は、入学料 282,000 円（予定）です。

入学料は、入学時に改定されることがあります。また、既納の入学料はいかなる理由があっても返還しません。

(3) 入学手続関係書類は、合格通知書とともに送付します。

## 7 授業料

前期分 267,900 円〔年額 535,800 円〕（予定）

- ・授業料は、予定額であり、入学時及び在学中に納入金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納入金が適用されます。
- ・授業料は原則、口座引き落としとなっています。手続については、別途案内します。

## 8 その他の経費

学生教育研究災害傷害保険料等の経費が必要です。

## 9 その他

出願にあたって知り得た氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務、④統計調査を行うために利用します。また、入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。

なお、入学者については、知り得た個人情報を①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

# 入学案内

## 1 目的

ヒューマンヘルスケア学専攻は、あらゆるライフステージにある人々が、健康で、自律し、自己実現するためのケアについて、新しい理論の構築とそれに基づく看護実践方法を探究します。

そのため、看護学・医学・工学・教育人間科学の融合した教育・研究の機関として、高度な専門職としての研究・教育能力の育成と知的資源の提供を行うことを使命とします。

## 2 専攻の内容

人間を身体・心理・社会的側面から包括的に捉え、看護・保健・医療・福祉に対応したヒューマンヘルスケアとしての研究を推進します。小児・青年・成人・高齢者までのすべてを対象とし、ヒューマンヘルスケアにかなった研究方法を探究するために、医学、工学、教育人間科学の諸学と連携をとりながら、看護実践方法・教育活動・看護政策などの実践理論を導き出すための研究を行います。人々の健康な生活を維持・促進・回復を支援する看護実践方法や教育活動を開発・展開、保健・医療・福祉政策のあり方を探求する教育者・研究者・実践者を育成します。

## 3 構成

- (1) 修業年限3年を標準とする博士課程です。
- (2) 授業科目及び単位数  
別表1のとおり

## 4 授業科目及び担当教員

別表2のとおり

## 5 学位

- (1) 学位の名称は、博士(看護学)とします。
- (2) 博士の学位は、大学院に3年以上在学し、16単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び最終試験に合格した方に授与します。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた方は、大学院に1年以上在学すれば足りるものとします。

## 6 履修及び研究方法

<履修基準>

(平成29年度)

必修・選択の別	授業区分	必要単位数
必修	講義	2単位
選択必修	講義	2単位
	特別演習	2単位
	特別研究	4単位
選択	講義	6単位以上
合計		16単位以上

- (注) 1 選択必修は研究テーマに関連するものとします。  
2 平成30年度以降は上記履修基準が変更になる予定です。

<研究方法>

特別研究では、指導教員のもとで、ヒューマンヘルスケアとしての看護学の研究課題を探究し、独創的で実践的な成果を生み出すための研究を行います。



## 7 大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例

本学博士課程ヒューマンヘルスケア学専攻においては、大学院設置基準第 14 条に定める「教育方法の特例」を適用し、有職者が離職することなく修学することが可能となるよう、昼夜開講します。

また、夜間等の開講では、月曜日から金曜日までの 18 時 10 分から 21 時 20 分、土曜日及び夏季・冬季の休業期間中に開講する講義等を履修でき、研究指導も受けられます。

## 8 入学料及び授業料の免除制度、入学料徴収猶予制度

### (1) 入学料免除

次のいずれかに該当する方は、本人の申請に基づき、選考のうえ、入学料の全額又は半額を免除することがあります。

- ① 経済的理由により入学料の納入が著しく困難であり、かつ、学業優秀と認められた方
- ② 入学前 1 年以内において学資負担者が死亡し、又は入学する方若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、入学料の納入が著しく困難であると認められた方

### (2) 入学料徴収猶予

次のいずれかに該当する方は、本人の申請に基づき、選考のうえ、入学料の徴収を猶予することがあります。

- ① 経済的理由により入学料の納入が著しく困難であり、かつ、学業優秀と認められた方
- ② 入学前 1 年以内において学資負担者が死亡し、又は入学する方若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、入学料の納入が著しく困難であると認められた方

### (3) 授業料免除

次のいずれかに該当する方は、本人の申請に基づき、選考のうえ、授業料の全額又は半額を免除することがあります。

- ① 経済的理由により授業料の納入が著しく困難であり、かつ、学業優秀と認められた方
- ② 授業料の納入前 6 ヶ月以内(入学時にあっては入学前 1 年以内)において学資負担者が死亡し、又は入学する方若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、授業料の納入が著しく困難であると認められた方

## 9 長期履修学生制度

この制度は、職業を有していること等の理由により学習時間が制約される方のために、標準修業年限(3 年)を超えて一定期間(最長 6 年)にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了することができる制度です。履修すべき総単位数は、3 年で修了するものと同じですから、年間の時間的負担は相当軽減されることになります。

本制度に関する問い合わせは、医学域学務課教務グループ大学院担当(電話 055-273-9627)までお願いします。

## 10 奨学金制度

日本学生支援機構の奨学金制度があります。貸与額は、第一種(無利息)は、博士課程(博士後期課程)が月額 80,000 円、122,000 円、第二種(利息付)は、月額 50,000 円、80,000 円、100,000 円、130,000 円、150,000 円より選択になります。

(平成 29 年度)

その他の奨学金制度もあります。詳細については医学域学務課学生支援担当(電話 055-273-9334)へお問い合わせください。

また、本学では、経済的負担の軽減を図り、学業を奨励することを目的とする学術研究奨励金制度を実施しています。詳細については、医学域学務課教務グループ大学院担当(電話 055-273-9627)へお問い合わせください。

## 11 学生教育研究災害傷害保険(任意加入)

学生が教育研究活動中及び通学中に受けた災害・傷害に対し、その被害救済を目的とする互助共済制度です。保険料は 3 年間で 4,150 円です。

平成 30 年度以降は、下記授業科目及び担当教員が変更になる予定です。

## 授業科目及び単位数

(平成 29 年度)

授 業 科 目 名	履修 年次	単位数		担当教員名
		必修	選択	
生命倫理学・環境心理学特論	1	2		竹田 扇教授 宮澤恵二教授 宇賀貴紀教授 布村明彦准教授 石黒浩毅講師
基礎看護学特論	1・2		※2	浅川和美教授
臨床看護学特論	1・2		※2	坂本文子准教授
精神保健看護学特論	1・2		※2	水野恵理子教授
母性看護学特論	1・2		※2	小林康江教授
小児看護学特論	1・2		※2	石川眞里子教授
遺伝看護学特論	1・2		※2	中込さと子教授
高齢者看護学特論	1・2		※2	谷口珠実准教授
国際保健看護学特論	1・2		※2	宮本和子教授
健康人間学特論	1・2		※2	田辺文憲教授 相原正男教授
保健教育学特論	1・2		※2	宮村季浩教授
バリアフリーデザイン学特論	1・2		2	齊藤成彦教授 吉田純司准教授
ユニバーサルデザイン学特論	1・2		2	菅沼研一教授 村松俊夫教授 井坂健一郎教授
ヒューマンヘルスケア学特別演習	2・3		※2	浅川和美教授 (基礎看護学) 水野恵理子教授 (精神保健看護学) 田辺文憲教授 (感染防御学) 宮村季浩教授 (保健学) 相原正男教授 (認知神経科学) 小林康江教授 (母性看護学) 石川眞理子教授 (小児看護学) 中込さと子教授 (遺伝看護学)
ヒューマンヘルスケア学特別研究	2・3		※4	浅川和美教授 (基礎看護学) 水野恵理子教授 (精神保健看護学) 田辺文憲教授 (感染防御学) 宮村季浩教授 (保健学) 相原正男教授 (認知神経科学) 小林康江教授 (母性看護学) 石川眞理子教授 (小児看護学) 中込さと子教授 (遺伝看護学)

(注) 1 生命倫理学・環境心理学特論は必修科目です。

2 ※印は選択必修科目で研究テーマに関連する特論 2 単位、特別演習 2 単位、特別研究 4 単位を修得しなければなりません。

## 授業科目及び概要

(平成 29 年度)

授業科目	授業科目の概要
生命倫理学・環境心理学特論	(竹田扇教授 宮澤恵二教授 宇賀貴紀教授 布村明彦准教授 石黒浩毅講師) 生命科学・医学研究・医療に関わる倫理的問題の考察として、旧来の医療倫理の枠を超えて展開されてきた生命倫理学を包括的に理解する視座を確保することを目指す。そのため生命倫理学の成立過程を詳しく分析し、そこに含まれる多様な方法論の有効性を具体的問題とつき合わせながら検討する。また、システムエンジニア、バイオビジネス起業家などの高度専門技術者にとり、ヒューマン・マインドとブレインの特性を深く理解することは、人の心と脳に優しく、ストレスを生まない医療・福祉機器や IT 医療の開発にとり最重要な課題である。
基礎看護学特論	(浅川和美教授) 看護実践の根拠とその効果を検証するための評価指標と研究の進め方について学び、臨床実践力を高めるための看護基礎教育の在り方について考究する。また、さまざまなヘルスレベルにある対象に対して行われる看護に関しての科学的知見を得る。
臨床看護学特論	(坂本文子准教授) 成人患者の特徴を、身体的・精神的・社会的側面から日常生活と関連づけて包括的に捉える。臨床における成人患者の多くが自立し、やがて豊かな生活に復帰できるまでの、生活活動促進に向けた看護介入方法、社会的資源の活用、サポートシステムについて科学的に論述する。
精神保健看護学特論	(水野恵理子教授) 精神疾患患者と家族の歴史の変遷と社会的背景について十分理解したうえで、彼らの生き方を支えるための援助を探求する、また、多様な場における精神的問題をもつ人々への援助、健康な人々の精神的健康の維持・増進に寄与する看護実践について考える。
母性看護学特論	(小林康江教授) 社会の変化、とりわけ生活環境が変化している中で、女性の健康、ライフスタイルの獲得、妊娠から産後までの女性やとりまく人々などに関心を持ちながら、社会や家族単位における女性や子供、その家族の理解と援助に焦点をあてる。また、産科医療や地域母子保健と関連させた、女性の健康と産むこと・育てることへの看護の役割機能や医療基盤についても考える。
小児看護学特論	(石川真里子教授) 少子化に伴い、小児科における疾病構造の変化および育児力の低下に伴う育児支援が課題となっている。病いのある子どもおよび家族を子供の発達過程を踏まえつつ長期的かつ地域社会的に支援する方法を探求する。また、小児看護実践に関する最近の課題を明らかにし、小児医療における看護の役割と連携について方法論を探求する。皮膚・排泄ケア領域における学問的理解に基づいた知識・理論を学び、専門領域の看護の役割と看護実践について考える。
遺伝看護学特論	(中込さと子教授) 遺伝学的要因による症状・疾病を抱えた、もしくはそのリスクのある個人、家族、特定集団に注目する。 遺伝学的要因による障がいや病的状態、慢性疾患を抱えている。もしくはそのリスクがある個人の主観的体験と客観的データを統合し、さらに遺伝学的理解に基づいた遺伝看護実践に関する知識や理論を学び、創造的な方法論を探求する。
高齢者看護学特論	(谷口珠実准教授) ヒューマンヘルスケアの視点から、多様な障害をもつ高齢者の生活の質を向上させる諸問題と課題の分析、生活の自立のための援助方法を探求する。福祉・教育などの諸学の研究成果を活用し、高齢者とその家族の健康を維持・進させるための看護介入、高齢者に対するヘルスケアの専門職としての役割・機能、およびその看護実践・看護介入評価などの研究方法について論述する。

国際保健看護学特論	(宮本和子教授) 主として発展途上国の健康課題を対象とし、その解決のために看護が果たす役割と課題を検証する。世界情勢は複雑であり、人々の暮らしと健康を守るためには、保健医療のみでなく様々な分野からの取り組みが必要である。その中で看護はどのように貢献できるのかを様々な角度から考察していく。
健康人間学特論	(田辺文憲教授 相原正男教授) 人間を身体・心理面から包括的に捉えて、医療・看護・保健・福祉活動を展開する基盤となる科学について論ずる。特に、人間を成長発達面・免疫防御面で捉え、健康維持・増進の家庭を医学・心理学の両面から科学的に論述する。 このようなオーキソロジカルな視点から成長・成熟の機構を考える。
保健教育学特論	(宮村季浩教授) 少子・高齢化に伴うあらゆるライフステージの人々の抱える健康問題に着目し、人々が各ライフステージに応じた自己管理行動がとれるような保健教育活動の開発・展開について論述する。
バリアフリーデザイン学特論	(齊藤成彦教授 吉田純司准教授) 主に高齢者や身体障害者にとってやさしい歩道や公共・社会福祉施設など、バリアフリーを重視した環境・施設的设计・施工・維持・管理に対する研究的取り組みについて詳述する。
ユニバーサルデザイン学特論	(菅沼研一教授 村松俊夫教授 井坂健一郎教授) 人間の健康にとって、環境、特に視覚面から与える影響は大きい。人間の健康生活と色彩・自然・造形などが心理面・健康面へ与える影響・効果について論述する。
ヒューマンヘルスケア学特別演習	(基礎看護学：浅川和美教授) (精神保健課語学：水野恵理子教授) (感染防御学：田辺文憲教授) (保健学：宮村季浩教授) (母性看護学：小林康江教授) (認知神経科学：相原正男教授) (小児看護学：石川真里子教授) (遺伝看護学：中込さと子教授) ヒューマンヘルスケア学は、豊かな社会にあるあらゆるライフステージの人々が、健康で、自立し、自己実現するために、新しい理論の構築とそれに基づく看護実践方法を開発する。その方策として、倫理的な判断に基づいて、看護の観点から現状を批判する。本演習は、あらゆるライフステージにある人間をホリスティックに捉え、看護を基盤とし、医療・保健・福祉・教育の諸学の成果を活用して、ヒューマンヘルスケアとしての看護実践の在り方、看護職の育成、看護政策、他職種と連携・協働の課題を明らかにする。そのために、医学・工学・教育人間科学領域と連携して、諸学の研究方法を批判的に吟味し、ヒューマンヘルスケアとしての看護の特徴に対応した研究方法を検討するための演習を行う。
ヒューマンヘルスケア学特別研究	(基礎看護学：浅川和美教授) (精神保健看護学：水野恵理子教授) (感染防御学：田辺文憲教授) (保健学：宮村季浩教授) (母性看護学：小林康江教授) (認知神経科学：相原正男教授) (小児看護学：石川真里子教授) (遺伝看護学：中込さと子教授) あらゆるライフステージにある人々が、健康で、自律し、自己実現に向かうための、ヒューマンヘルスケアとしての看護実践理論を導くための研究を行う。そのために、人間の特徴をホリスティックに捉え、看護・医療・保健・福祉・教育の諸学を基盤とし融合しつつ、個の尊重と倫理的判断に基づいた、ヒューマンヘルスケアにふさわしい研究方法を開発する。人間の健康維持・増進、また生活支援に関する諸問題について多角的に分析し、看護学のみならず、医学・工学・教育人間科学領域と連携して、ヒューマンヘルスケアの視点から問題を見出す。ヒューマンヘルスケアとしての看護学の研究課題を探究し、独創的で実践的な成果を生み出すための研究を行う。

※本要項に掲載している授業科目は、変更になる場合があります。



記入例

研究業績調書

著書、学術論文、学会発表、その他	受験番号	※	氏名	山梨 太郎
	発行、発表の年月	掲載雑誌、発表学会等の名称	概要 (簡潔に記入してください)	
著書 ・○○○○○○○○○○	2017年4月	○○出版社		
学術論文 ・○○○○○○○○○○ (山梨太郎、共著者名)	2016年6月	○○学会誌 Vol.○、No.○		
学会等発表 ・○○○○○○○○○○	2015年12月	○○学会		
その他				

(注) 記載の内容を証明する書類(学術論文等の別刷、出版物、学会のプログラム等(コピー可))を必ず添付してください。

# 研究業績調書

著書、学术论文、学会発表、その他	受験番号	※	氏名	概要 (簡潔に記入してください)

(注) 記載の内容を証明する書類(学术论文等の別刷、出版物、学会のプログラム等(コピー可))を必ず添付してください。

# 研 究 計 画 書

受験番号	※	氏名		備考	
------	---	----	--	----	--

(日本語の場合は1,000字以内で、英語の場合は500words以内で記載してください。)



受験 番号	
----------	--

## 受 験 承 諾 書

山 梨 大 学 長 殿

このたび、  
が貴大学院医工農学総合教育部博士課程  
を受験することを承諾します。

なお、本人が貴大学院に入学した場合、在職のまま在学することを認めます。

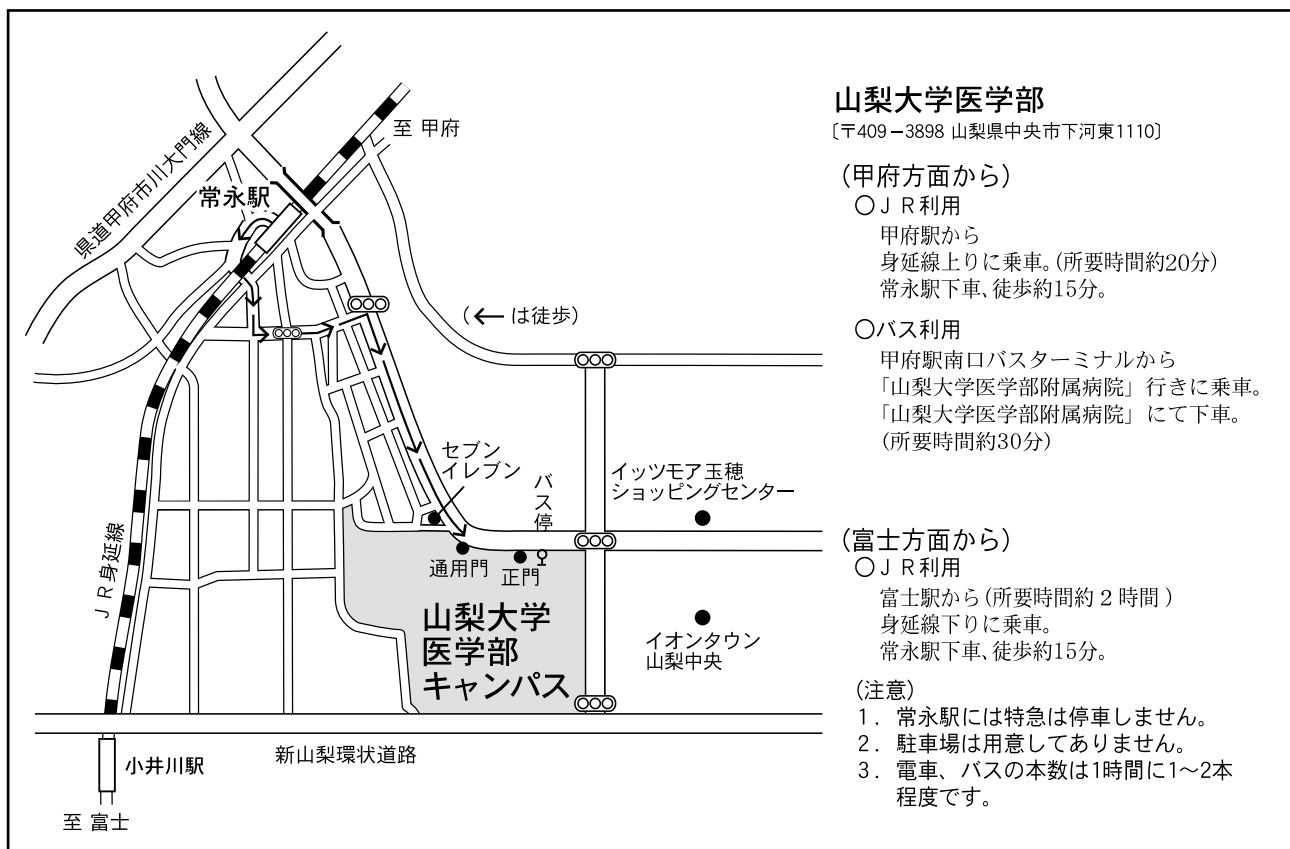
平成 年 月 日

(機関名・職名)

(氏 名)

印

# 山梨大学医学部キャンパス周辺図



# 山梨大学医学部キャンパス構内案内図

